区分	臨床・専門基礎分野	授業科目名	生理学	単位数	1単位
対象学年	1年生	開講時期	(前期)・ 後期 ・ 通年	講義形態	(講義)・ 実習
担当教員名	井上　靖久	実務経験	有・(無)	実務経験内容	

授業の目的・目標

身体を全体として把握し、機能を理解することが生理学である。特に1年生では、生理学の基礎となる体液、循環および呼吸について学ぶ。後期は消化・吸収・代謝、排泄、内分泌、および生殖と発生の学びを通して各系統が調和・連動して健康が維持されていることを理解することが目的である。

成績評価の方法

筆頭試験

授業の概要・授業方針

この講義は単に生理学の知識を得ることは重要ではなく、人体におこる生命現象を真に論理的に理解しようとする姿勢を身に着けることである。正常な生命活動は細胞個々にも全体としても、正常に機能して初めて維持できることを重要視する。

テキスト・参考資料等

最新　臨床検査学講座　生理学（医歯薬出版）

授業計画	講師
1　人体は体細胞である受精卵から発生し、緊密に連携する多くの細胞の集合体に成長する。	井上靖久
2　人体を構成する細胞の内部と外部には、体液が存在する。	井上靖久
3　細胞外液の分類と機能の説明	井上靖久
4　血液と間質液の循環	井上靖久
5　血液は血漿と血液細胞からなる。	井上靖久
6　血液細胞の分類と各血液細胞の機能	井上靖久
7　心臓の構造と機能の相関	井上靖久
8　心臓機能の調節	井上靖久
9　心電図	井上靖久
10　心周期図	井上靖久
11　血管と血液循環	井上靖久
12　血圧調節	井上靖久
13　呼吸における換気と呼吸運動	井上靖久
14　細胞内呼吸	井上靖久
15　呼吸調節	井上靖久